

学校だより

令和7年1月
金沢高等学校

新年あけましておめでとうございます。昨年1月1日以来、地震被害および豪雨災害の地域復旧に係るニュースが毎日のように報道されています。住民が望む状況には程遠く、人口の流出が止まりません。明日への希望が持てる時が必ず訪れると信じつつも、故郷能登の行方を心配しています。

さて、昨年はソフトボール部の全国選抜大会準優勝から始まり、進路結果や部活動において顕著な結果を残してくれました。その他にもスピーチコンテスト、各種コンクール、数学オリンピック、トビタテ！留学 JAPAN など、幅広い分野での活躍が目立った年となりました。さらには、齋藤大翔君のドラフト1位指名で日本中を賑わすことになり、校長として誇らしい1年となりました。

昨年11月に実施された「入試・学校説明会」では、前年度同様多くの参加者があり、改めて本校に求められる使命を再確認し、社会変化に寄り添った教育内容の充実を目指していかねばと考えています。

今年の干支は「巳年」で、調べてみると、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」との嬉しい記述を見つけました。まさに、急激な変化が起こっている社会、同時に多くの課題を抱えている社会にとって、そのような年であってほしいと願うのは私だけではないと思います。

生徒の皆さんが、「成長」を実感できる年になることを切に願っています。保護者の皆様には今年一年間
よろしく願いいたします。
校長 杉浦 外美夫

【共通テストに向けて】

1/18・19の2日間、大学入学共通テストが行われます。本校からは221名が出願しています。国公立大学を志願している受験生にとっては大切な2日間です。これまでに努力してきたことを信じて、存分に実力を発揮してください。

とかく勘違いされがちですが、受験は孤独な闘いではありません。周囲の支えがあって初めて乗り越えられるものです。「受験は団体戦」という言葉を耳にしたことのある人はたくさんいると思います。クラスメイトが隣で頑張っている姿を見ると自分も頑張ろうという気がしてきませんか？決して諦めず最後まで周囲の力を借りながら乗り越えていきましょう。

また、すでに進路が決定した人は、これから受験に向かうクラスメイトの支えになっているのだということを念頭に置きながら、気を緩めずに最後まで充実した高校生活を過ごしてください。

進路支援部長 杉本 康孝

【修学旅行(11/26~29)を終えて】

東北を訪れ、災害について学び、減災や復興の重要性について深く理解することができました。また、生徒の皆さんは時間やルールをよく守り、全員スムーズに行動することができました。各施設や公共の場でのマナーがとても良く、現地の方々からも大変褒められました。

これからは修学旅行の思い出を胸に、気持ちを切り替えて自分の進路に向けて努力してくれることを期待しています。
2年学年主任 土橋 知瀬子



写真：亀田琢心（2年6組）

【英検準1級に合格】

「大学中級程度」のレベルとされる英検準1級に、大竹葵さん（2年1組）が合格しました。12月11日、校長から激励を受けた大竹さんは、「これまで積み重ねてきた英語学習の通過点であり、さらなる高みを目指したい」と意欲を見せました。



【留学体験発表会を実施(12/23)】

「トビタテ！留学 JAPAN」に参加した生徒4名による「留学体験発表会」が、2学期終業式に先立ち、体育館で行われました。オーストラリア、フランス、カナダ、マレーシアでの探究の成果を報告し、生徒たちに留学の魅力を伝えました。 ※詳しくはホームページをご覧ください。

